

令和4年8月26日

栃木県内各小学校長 様  
県内各ジュニア陸上クラブ 様

一般財団法人栃木陸上競技協会々長 横松 盛人 (公印省略)

## 2022年度 第5回栃木県小学生陸上競技大会の開催について

標記の大会を下記「実施要項」のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。  
なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、大会を中止する場合があります。

記

### 第5回栃木県小学生陸上競技大会実施要項

- 1 主催 一般財団法人栃木陸上競技協会 下野新聞社
- 2 後援 栃木県教育委員会
- 3 期日 令和4年11月6日(日)  
8:30集合 9:00開会式 9:30競技開始
- 4 場所 下野市 大松山運動公園陸上競技場
- 5 種目  
[5・6年生男子の部] (6種目)  
100m 80mH 1,000m  
走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投  
[5・6年生女子の部] (6種目)  
100m 80mH 1,000m  
走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投  
[男女混合]  
4×100mR  
(男女3名ずつエントリー、競技は男女2名ずつ)
- 6 競技規則 2022年(公益財)日本陸上競技連盟競技規則、本大会規則による。
- 7 競技方法 個人種目並びにリレー競走。
- 8 出場資格 県内の小学校に在籍し、5・6年生の年齢に該当する児童。  
「体調管理チェックシート」を必ず提出すること。  
(栃木陸協HPからダウンロードして使用)
- 9 出場制限 (1) 一人1種目。(ただし、リレーを除く。)  
(2) 1校、1クラブは、1種目2名以内。リレー1チーム以内。(6名)
- 10 申込方法 別紙「出場選手一覧」「個人申込票」「リレー申込書」を  
10月3日(月)～10月7日(金)の期間  
※この期間以外は受け付けません  
下記へ提出してください。(必着のこと。)

[申込先] 〒328-0113 栃木市都賀町合戦場301  
栃木市立合戦場小学校内 小倉 隆史 教諭 あて

[kassemba-te@tochigi-city.ed.jp](mailto:kassemba-te@tochigi-city.ed.jp) (栃木市立合戦場小学校)

※ファックスでの申込は、受け付けません。郵送もしくは電子メールでお願いします。

※Excel形式の申込書は、県陸上協会HPからダウンロードできるようになっています。

なお、個人情報保護から電子データにはパスワードを設定してあります。

パスワード【\*\*\*\*】各学校等への通知参照

- 11 表彰 (1) 個人種目は、1位から8位までに賞状を授与する。  
 (2) リレー種目は、1位から3位までに賞状とメダルを授与する。  
 ※リレー種目の表彰は、決勝メンバーの4名とする。
- 12 参加料 (1) 参加料(傷害保険料を含む)  
1人1,000円 リレー1チーム 1,000円  
 (2) 参加料納入先 〔大会当日受付時〕

- 13 感染予防対策について
- (1) 文部科学省の定める「学校における新型コロナウイルス感染症に関する 衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～Ver.8」に基づき大会を実施する。【文科省】R4.4.1
- (2) 競技会実施にあたっては、関係諸機関から示されている資料に基づき実施する。  
 ① 「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(改訂)」【スポーツ庁】R3.11.16  
 ② 「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて(改訂)」  
 【日本スポーツ協会】R3.11.5  
 ③ 「陸上競技活動開催ガイダンス (競技会開催について第4版)」【日本陸連】R4.5.2  
 ④ 「競技会に参加する際の新型コロナウイルス感染症への対応について」  
 【栃木陸協】R4.4.1  
 【栃木陸協】R3.3.1
- (3) 観客について  
○本大会は、無観客で実施する。  
 【参考】R4.8.20開催された「第38回全国小学生陸上競技交流大会(日産スタジアム)」観戦を希望される方は、事前登録、体調チェック(1週間前から)、大会72時間前にPCR検査(自費)を行い、陰性証明を提示することが、必須条件として有観客で実施された。
- (4) 指導者の入場について  
各団体2名までとする。【必ず、体調チェックシートを提出すること】
- (5) 感染状況によっては、大会を中止 または、実施方法を変更する場合がある。

- 14 備考 (1) スパイクは、使用可(スパイクのピンは、平行ピン9mm以下とする。ただし、走高跳は、12mm以下とする。)
- (2) トラック競技におけるフライング失格については、旧来のルールを適用し、同一人が2回不正スタートをした場合、失格とする。  
※スタート時の合図は、イングリッシュコールで実施する。  
 【「On your marks(位置について)」「Set(用意)】  
スタートの姿勢は、クラウチングスタートとする。
- (3) リレー競技における テイクオーバーゾーン30m
- (4) 80mHはスタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからゴール11m、ハードルの高さ70cm、台数9台とする。
- (5) トラック競技の予選は、タイムレースとして、上位8チーム、8名を決勝に進出させる。1000mは、タイムレースにより順位を決定する。
- (6) 走幅跳は、全員3回の試技を行い、その後上位8名の者が、さらに3回の試技を行う、同一方向の2カ所(A、B)ピットで行う。
- (7) 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。背面跳びも可。  

男子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以降3cm
女子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	-	以降3cm
- (8) ジャベリックボール投げ(「ボーテックス」(NISHI Sports)を使用)  
 投てき回数は1人3回(全員)/助走は5～15m、やり投げのピットで実施。